＜Q1解答＞

・IPアドレスの発行者：契約しているインターネットサービスプロバイダー

・MACアドレスの発行者：その通信機器を製作しているメーカー

IPアドレスとは、通信機器がもつ一意の番号であり、インターネット上における通信機器の住所のような役割を果たす。このIPアドレスを識別することで、インターネット上におけるサーバーとクライアントの通信が確立する。IPアドレスにはいくつか種類があり、特に動的IPアドレスと呼ばれるものは、後述するMACアドレスとは異なり接続のたびに変更される。

対してMACアドレスは、物理アドレスと呼ばれ、こちらも通信機器に一意に割り当てられている番号であることはＩＰアドレスと共通である。しかし、MACアドレスは、IPアドレスとは異なり、割り当てられた番号は変更されない。

MACアドレスは単に通信機器にメーカーが割り当てた固有の番号であり、IPアドレスのように利用者を管理する仕組みはない。

＜Q2解答＞

・Aさんまたは、Aさんが秘密鍵をCさんに渡していた場合はCさん。

AさんはBさんに対し、公開鍵のみを送付している。そして、Bさんはその公開鍵を使い、機密文書を暗号化した、とあるので、この文書を復号化できるのはこの公開鍵と一緒に作成された秘密鍵を持つ者のみ。

この時点でBさんは、公開鍵しか受け取っていないのでBさんは復号化できないので除外。

Aさんは、Bさんに対し公開鍵を送付しているので、Aさんが公開鍵暗号方式によって公開鍵と対応する秘密鍵を作成したと思われる。よって、Ａさんは復号化可能。

残る第３者のＣさんだが、特に記述はない。仮にＣさんがＡさんから秘密鍵の共有を受けていた場合は、Ｃさんも復号化可能である。